

阪南病院 夏祭り

8月22日(金) 今年も暑い暑い1日でした。



当日は、9時半にはすべての模擬店とその装飾も終わり、E棟前にはどこのお祭り?と思うほどにぎやかな10店舗、22の出し物が揃いました。炎天に加え鉄板の熱と熱気で、陽炎のように空気が歪んで見えて一層、暑さを演出していました。午前中から患者さんだけでなく、そのご家族や、職員の家族など集まり、数年前から子どもさんの姿がぐっと増えたように思います。出し物もお菓子のつかみ取りやヨーヨー釣り、くじ付きのみたらしなど子どもウケするものやチュロスやスムージーなどのスイーツもあり

り盛り沢山、売り切れで早々に一旦店じまいをするところもあるほどたくさんの方が集まりました。

午後からは恒例のコンサート。職員で結成された阪南バンドのコンサートに続き、盲導犬ロックバンド「シャンテ」さんのコンサート。盲目の熊野さんの演奏と手話ボーカルの知子さん、そして昨年参加の知子さんのお子さんレイちゃんもギターとハーモニカをもって登場。E棟地階多目的ホールは、近隣の児童福祉施設から招待した子どもたちや院内保育園の子どもたち、そして患者さんや職員も手を叩いて歌って一緒に楽しみました。

第2部の盆踊りでは患者さんや職員がやぐらを囲んで踊りました。炭坑節や河内音頭はこの時期にしか聞くとありますが、自然に体が動くのか、皆さん本当に楽しそうでした。夕方以降には地域からも子どもさん連れで越えしになり、地域のお祭りといった盛り上がりでした。19時と20時に打ち上げられた花火の美しさに夏の余韻が残る1日でした。

基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

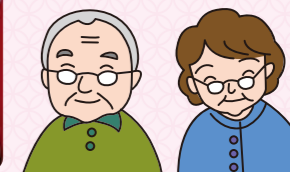


百日紅

- 開花時期は、7/15～10/15頃。中国原産。
 - 約100日間、ピンクの花を咲かせるため「百日紅」という名がついた。
 - 夏から秋まで咲き続ける。
 - 花はしわしわの形でピンクの花が多い。白い花もある。
 - 幹がスベスベで、猿も登れないところから「猿滑」とも書く。
- そろそろ花は終わりの時期ですが、院内でも咲いています。気候のよくなったこの時期、院内の花や緑を散策してみませんか。

行事食 (敬老の日)

メインは鯖の照焼き、松風焼き、そして季節感あるきのご飯。少量ずつ彩りよく盛り付けられ食欲をそそります。



■外来診察表 外来診察時間/9:00~12:00(受付は11:30まで)

	月	火	水	木	金	土	
診 察	1 診	黒田	子安	作田	横田	黒田	横田
	2 診	福田真	秋田	松島	橋元	横井	横井
	3 診	松島	島本	植田	仲山	茶谷	植田
	4 診	山本	大矢	濱田	山下		安藤
	5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
	6 診	福田晋	土井	正路	永松	土井	宮里
	7 診	村上智	村上智	小深田	和田	作田	小深田
	8 診	西村	荒川	西村	河野い	岩田	和田
	9 診	熊取谷	柏木	清水	大浦	長谷川	熊取谷
診(心1)		河野隆	中井				

(ご紹介いただく際は予めご連絡をお願いいたします)

専門外来(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。
受診の前に下記へお電話ください。
☎072-278-0381 FAX072-281-6615



診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 51床(E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- リカバリ mix 病棟 60床(D2病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- リハビリ(精神療養)病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1
看護師比率 70%以上・看護補助 30:1

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあい ☎072-279-1631
- グループホーム/こもれび・青空・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 ☎072-278-0381
- グループホームあんの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F
☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506

秋バテに注意!

秋を元気づけるための
5つのポイントをご紹介します。

夏バテは、夏の暑い時期に、「なんだか体がだるい」「食欲がない」といった慢性的な症状が現れる現象です。汗をかくことで体内の水分やミネラルが不足したり、胃腸の疲れから消化機能の低下を起こしたりするものですが、こんな体調がすっきりしないまま、秋を迎えると、初秋の不安定な気候で、余計に体調を崩すことがあるようです。これが、遅い夏バテ、もしくは秋バテなんて言葉を使って表現されています。皆さんはいかがですか?

① 食事

夏は、「暑い」「食欲がない」という理由で、食事を抜いたり、冷たい簡単なもので済ませてしまいがちです。反面、ビアガーデンなどで暴飲暴食…なんてこともあり、胃腸はかなりのダメージを受けています。食事の基本は、1日3食・規則正しく・バランス良く。消耗した体力を取り戻し、弱った胃腸の働きを整えるためにも、なるべく温かいものを食べるようにしましょう。よく噛んでゆっくり食べることも大切です。

② 入浴

夏は簡単にシャワーだけという方も多いと思いますが、疲れをとり、リラックスして眠りにつくためには、約39℃のお湯での入浴がおすすめです。冷房などで冷えた体を温め、胃腸の回復を助けてくれますよ。

③ 冷房

まだまだ冷房をつける機会が多いこの季節。外気との温度差は5℃以内が望ましいとされていますが、オフィスなどでは、誰もが快適な温度設定にすることはほぼ不可能です。体調に合わせて1枚はおるものや、ひざ掛け、靴下などを準備しましょう。特に、お腹まわりや下半身の保温は大切です。

④ 運動

冷房の効いた室内に長時間いたり、気候が涼しくなってくると、汗をかかなくなり、血行が悪くなります。これが体内に疲労物質を溜め、疲れの原因になってしまいます。朝夕の涼しい時間帯を選んでウォーキングや軽い運動をし、適度に汗をかくようにしましょう。もちろん、そのときには水分補給もお忘れなく…。

⑤ 睡眠

季節の変わり目は自律神経も乱れやすく、よく眠れない、寝つきが悪いという人も多いのではないのでしょうか。朝、太陽の光を浴びることで、夜、眠りにつきやすくなるため、朝の散歩やウォーキングは特におすすめです。

ちょっとした工夫で健康で楽しい秋を過ごしましょう!

地域イベント 阪南病院では地域への貢献活動と啓発活動を活発に行っております。

前号でお伝えいたしました「こころの日」イベントをはじめ、年間10回以上の地域イベントに、お声掛けいただき、参加・協力させていただいています。また、8月には本誌でも掲載している堺市中区の区民まつり「中区区民フェスタ」にも基幹型地域包括支援センターや社会福祉協議会など地域の高齢者支援団体と共に認知症の啓発活動を行いました。

10月11・12日には、堺市南区で当院も主催担当をする「安全なまちづくりフェスティバル」が開催されます。これは警察や消防、行政機関と共に防災防犯の観点から安全と、保健センターや当院から安心して地域生活を送るための情報発信と啓発を行うイベントです。今回で4度目の参加となる本イベントも毎年大盛況で、来場者数は20000人

を超えます。また、25日には「泉ヶ丘ハロウィンパレード2014」へ救護班として協力要請をいただいています。

さらに、11月8日には堺市西区・9日には南区の区民まつり、同じく11月の15・16日には大阪府が主催する「共に生きる障がい者展」への参加とイベントが目白押しです。お近くを通られる際は是非お立ち寄りください。



 当院は敷地内完全禁煙です

堺温心会病院

当院は急性期病棟・障害者施設等一般病棟・医療療養病棟・介護療養病棟を合わせ持つケアミックス型の病院です。平成28年には50周年を迎えることになります。地域の皆様のための医療機関として長年、地域医療に携わってまいりました。



医療機関紹介 renkei bookmark

今年度は、急性期病棟の内9床を地域包括ケア病棟の届け出を行い、医療療養病棟では在宅復帰機能強化加算の届け出を行いました。入院された患者様の生活サポートを行い、入院中や在宅生活での不安などに対する地域医療連携室の相談体制も整っており、安心して在宅復帰を行えるよう援助していきます。また、在宅復帰後は当院の訪問診療や訪問看護など在宅支援体制も完備されています。透析科におきましては、在宅療養が困難になった場合の、長期療養の入院も可能です。

今後も、地域の開業医の先生方や医療機関、介護施設との連携を心掛け、地域住民の皆様が安心して生活できる地域づくり病院づくりを目指していきます。



病院長
正木 浩喜 先生

- 住所 〒599-8273 堺市中区深井清水町2140-1
- 電話番号・HP 072-278-2461(代表) <http://www.onshinkai.jp>
- 最寄駅 泉北高速鉄道「深井駅」から南海バス西側のりば「津久野駅前」81系統 乗車(約5分) 八田荘団地バス停下車、徒歩約5分
- 診療科 内科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・歯科・眼科・透析科・放射線科・リハビリテーション科・外科(火木の午後診のみ)・皮膚科(水の午前診のみ)

院内掲示物の整備をしています

当院、広報会議では、院内の広報物などの検討を行う会議ですが、同時に、院内の掲示物や看板などの美観チェックも行っています。8月にはメンバーでラウンドし、老朽化したものなどチェックしました。ラウンドの結果は、全体的に、室内の掲示物はきれいな状態のものが多く、通路やバイク置き場など室外の掲示物は剥がれかけていたり、雨ざらしになって色褪せてさびていたり、といったものがありました。(写真は色あせた禁煙ポスター)

また掲示期限切れや掲示印なしのポスターがあったり、職員向けと患者さん向けのものが同じ掲示板にあったり、表記が変わった箇所の訂正が雑にされていたり、といったものもありました。現在は、ポスターの貼り直しや看板に磨きなどを行い、見やすくなっています。これからも、患者さんや来院される方によりわかりやすい掲示ができるよう、チェックと改善を行ってきたいと思います。(広報会議)

